

地方創生の取組に係る数値目標の進捗状況について

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和4年度の実績	備考
■ 新規雇用創出数 《累計》 ⇒令和6年までに、 3,000人以上	【基本目標1】 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする	令和4年度：359人 [内訳] 企業誘致によるもの ：120人（過去誘致分を含む） 創業によるもの ：95人（創業者を含む） その他：144人 （米子市職員採用によるもの他）	【参考値】 数値目標策定時の 平均(H27~H30年) ：493.5人
	まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの		
	4-1 地元企業の振興と地域産業の活性化 4-3 企業誘致の推進		



今後の方向性

新規雇用数については、前年度から100人以上増加した。そのうち、誘致企業による雇用が66人増となり、引き続き、産業用地整備を図るなど企業誘致に向けた取組を推進する。

また、学び直しによる職業能力向上の促進や、高齢者・外国人を含む働く意欲のあるすべての人が就労できるように努めていくとともに、社会情勢を注視しながら各種支援等を進めていくことにより、雇用創出数の増加を図っていく。

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和4年度の実績	備考
■人口の社会増減 《年間》 ⇒令和6年において 転出入の均衡	【基本目標2】 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる	令和4年度：△9人 [内訳] 転入総数：4,881人 転出総数：4,890人	【参考値】 数値目標策定時の平均 (H27~R1年) : △53.8人
	まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの		
	4-12 シティプロモーションの推進と関係人口の拡大 4-13 移住定住の促進		



今後の方向性
<p>令和4年の社会増減については、9人の転出超過となった。昨年と比べ、転入・転出者数ともに減少するとともにここ10年で最も少ない転入・転出者数となった。コロナ禍による転入出がある程度落ち着いたことなどが要因として考えられる。</p> <p>県外への転出超過の傾向は変わっておらず、また今後はコロナ禍以前の東京一極集中の動きに戻ることも予想されることから、引き続きシティプロモーションの推進や関係人口の拡大、移住定住の促進に取り組むとともに、未婚晩婚化対策等を推進し若者の定住定着を促進することで、人口の減少を抑制していく。</p>

(参考)米子市における社会増減推移

(単位：人)

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
県内合計	363	181	348	147	226
県外合計	-390	-393	-107	-140	-235

県外合計の内訳

(単位：人)

区分		令和2年	令和3年	令和4年	区分	令和2年	令和3年	令和4年	
関東	東京	-70	-61	-124	山陽	岡山	-3	2	43
	埼玉	-16	-1	-25		広島	-81	18	-41
	千葉	-14	-18	-10	小計	-84	20	2	
	神奈川	-8	-35	-17	島根	183	171	70	
小計	-108	-115	-176	外国	74	14	126		
関西	大阪	-75	-115	-81	その他	-37	-77	-158	
	兵庫	-60	-38	-18	県外合計	-107	-140	-235	
小計	-135	-153	-99						

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和4年度の実績	備考
■ 出生数 《年間》 ⇒令和6年において、 1,400人以上	【基本目標3】 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	令和4年度：1,182人	【参考値】 数値目標策定時の平均 (H27～R1年) ：1,352人
	まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの		
	3-1 在宅育児支援の充実 3-2 待機児童の解消と子育て支援の充実		



今後の方向性
<p>出生数については2年連続で前年から微増（9人増）となったが、長期的にみると減少傾向が続くものと考えられる。</p> <p>出生数の減少は、未婚・晩婚化、合計特殊出生率の低下など、様々な要因が絡み合っ て進行している。今後数年間は「異次元の少子化対策」による集中的な取組が見込まれて おり、本市においても国の動きに注視するとともに、こども総本部を中心に安心して子ども を産み育てられる環境づくりを行うほか、子育て支援の充実による子育ての負担軽減、保育 所及び学童保育の待機児童解消など総合的な取組を推進する。</p>

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和4年度の実績	備考
■ 中海・宍道湖・大山 圏域人口 《累計》 ⇒5年後、令和6年に おいて60万人以上	【基本目標4】 ひとが集う、安心して暮らすことが できる魅力的な地域をつくる	令和4年度：635,323人 [内訳] 米子市：146,148人 鳥取県西部圏域(米子市を除く) ：80,127人 松江市：200,880人 出雲市：172,428人 安来市：35,740人	【参考値】 数値目標策定時の 住民基本台帳人口 (H30年) ：65万3千人
	まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの		
	1-1 広域的な交通基盤の整備 2-9 国県・他の自治体との連携 協力 4-7 広域連携による観光振興		



今後の方向性
<p>広域連携の分野では、鳥取県西部圏域を含む中海・宍道湖・大山圏域で、市長会を中心に令和6年において、60万人以上の人口を維持することを目標に、地方創生関連交付金を活用しながら、観光や医療分野等における取組を進めている。</p> <p>圏域全体が観光等各分野において、相互に発展できる取組を続けていくことにより、人口を少しでも維持していくように、他県・他自治体との連携協力を図りながら、引き続き取り組んでいくこととしている。</p>